



笑顔にする算数・・・おもいやり算

校長 海老澤 孝代

少しずつ秋らしい便りを聞くようになり、学校では運動会に向けた取組が始まりました。5・6年生の運動会実行委員会を中心とし、高学年がリーダーとなって自分たちで創っていく運動会にしようと進めています。今年度も1組白色、2組緑色、3組黄色対抗となります。どのような取組になるのかとても楽しみです。

さて、先日『おもいやり算』について知る機会がありました。これは、以前 AC ジャパンの CM で流れていたものです。テレビで見た記憶のある方もいらっしゃるかもしれません。

おもいやり算

たす(+) たすけあう
ひく(-) ひきうける
かける(×) 声をかける
わる(÷) わけあう

『たす(+)] 困っている友達がいたら助け合う。仲間で力を合わせ助け合うと、より大きな力になります。

『ひく(-)] 大変な場面では笑顔で引き受ける。大変なことや面倒なことでも引き受けると、お互いに喜び合える関係になります。

『かける(×)] お互いに声をかける。挨拶や優しい言葉、励ましの言葉をかけることで、みんなの心が一つになります。

『わる(÷)] 喜びも悲しみも分け合う。分け合えば心が和み、みんな笑顔になります。

この CM の最後には「それは人を笑顔にする算数。『おもいやり算』。ほら、やさしいでしょ。」と結んでいます。優しさは人に笑顔を与えます。相手をおもいやり自ら行動していくことこそが、安心して生活していくことにつながっていくのだと思います。四則計算ではかけ算とわり算が優先ですが、『おもいやり算』にはそれがありません。どのように計算しても結果は『+(プラス)] になることばかりです。

これから秋に向かって学習が深まり、運動会や校外学習などの行事も充実していきます。その中で『おもいやり算』を意識していくことで、たくさん笑顔が白根小学校にあふれていくことを願っています。